

# 総合計画の進行管理について

## 1 現状

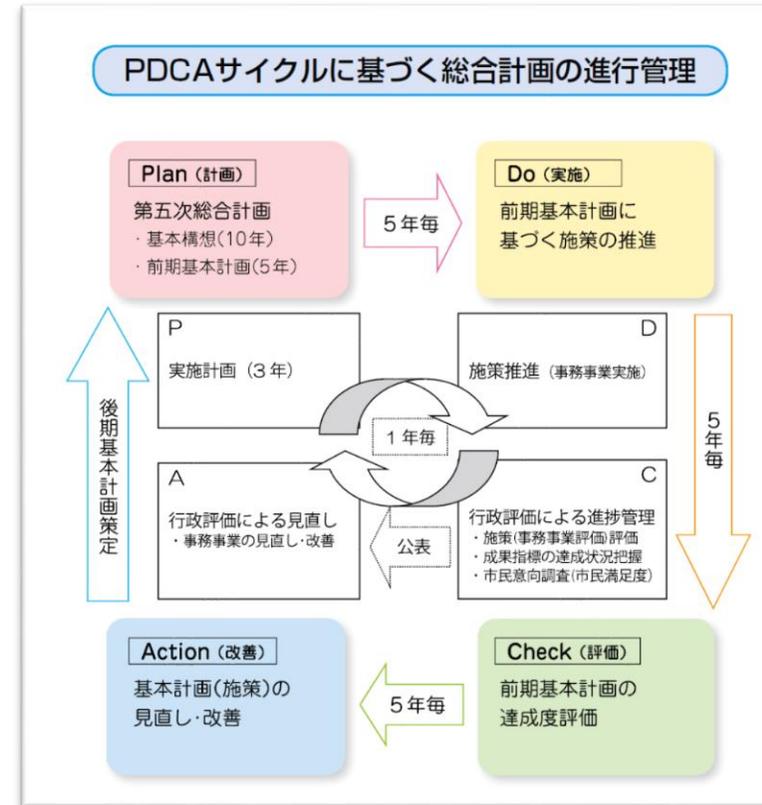
※ 長井市第五次総合計画より抜粋（下線は追記）

時代の変化に対応しながら多様化・高度化する行政ニーズに的確に応え、効率的な行政運営を行っていくために、PDCAサイクルに基づいた総合計画の進行管理を行います。

基本構想を実現するための手段が基本計画であり、基本計画を実現するための手段が実施計画です。基本計画では、めざす姿について最終的に実現したい状況（アウトカム）を「目標」とし、前期5年で達成すべき「成果指標」をできる限り数値化しています。

目標への貢献と成果指標を意識しながら実施計画を策定し、事務事業を実施していきます。また、事務事業の実施内容を毎年度評価し、翌年度の改善の方向性を示していきます。

前期基本計画についても5年をサイクルとする進行管理を行い、成果指標や市民満足度に基づく検証と評価をもとに後期基本計画の目標や成果指標を再設定していきます。



## 2 課題

- ・ 新型コロナや災害対応など、柔軟・迅速な対応が求められるケースがあり、PDCAサイクルのスピード感と合わない業務が発生している。

### 3 PDCAサイクル以外の主な施策管理方法

図		特徴
<b>PDR サイクル</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画段階を省略し、<b>スピード感に特化</b></li> <li>・「まずやってみる」ことを通して、改善につなげていく</li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業を実施するためには<b>予算化が必要</b>となる行政の制度上、導入するのは難しいと思料</li> </ul>
ウーダ <b>OODA ループ</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状を把握・判断し行動に移すことで、<b>迅速な意思決定</b>を行う</li> <li>・変化に対しても柔軟に対応可能</li> <li>※状況が変わった場合は、Observeに戻る</li> </ul> <p>【デメリット】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・<b>効果測定</b>の段階が無く、長期的な改善に向かない</li> </ul>

### 4 対応方針

- ・総合計画の進行管理方法（PDCAサイクル）の見直し  
 → **PDCAの欠点を補うため、迅速な意思決定を行うOODAループを補完的に活用**

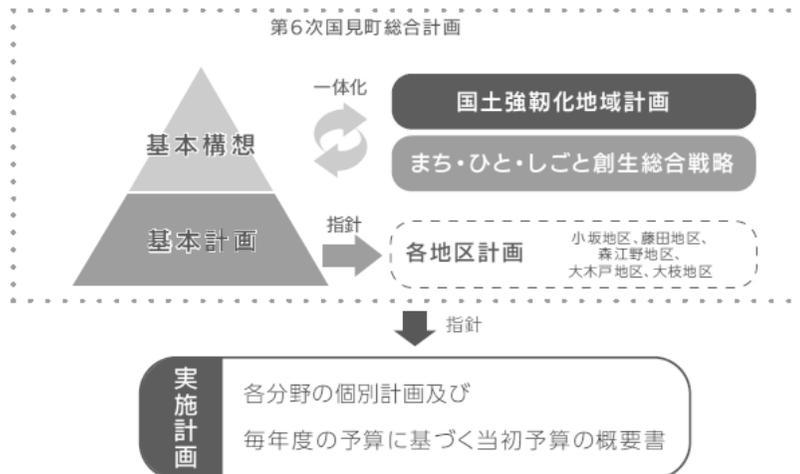
例) 静岡県焼津市

### (5) 国見町まち・ひと・しごと創生総合戦略との関係

国見町では、平成27年(2015年)10月に策定した国見町まち・ひと・しごと創生総合戦略(期間:平成27年度(2015年)～令和2年度(2020年))以下「総合戦略」という。)に基づき、地方創生への取組を推進してきましたが、本計画と総合戦略の双方については人口減少、少子高齢化問題を前提とした各種政策の関連性が高く、お互いの整合性を図っていく必要があります。

双方の取組を効率的かつ効果的に進めるためにも、「総合戦略」を本計画と一体化することで政策の整合性を図るとともに、進捗管理等の事務の簡素化、町民に対する政策や体系のわかりやすさを強化します。

#### 本計画の構成のイメージ



### (6) 国見町国土強靱化地域計画との関係

平成23年(2011年)の東日本大震災の教訓を踏まえながら、昨今の頻発する大規模な自然災害等に備え、事前防災・減災と迅速な復旧・復興に資する、「強くしなやかな」まちづくりが求められています。この指針となる国見町の「国土強靱化地域計画」の策定にあたっては、本計画と一体となった取組が効果的かつ効果的であることから、本計画と一体化し、強靱化の取組を進めることとします。

## 3 計画の進行管理

本計画の推進にあたっては、政策分野ごとに各施策の効果を客観的に検証するため、数値目標や指標(重要業績評価指標(KPI))を設定しています。

現在、世の中が不明確で常に変化していく状況の中で、現状から最善の判断を下し、即座に行動を起こすことが必要とされています。

このことから、本計画の推進について

は、OODA(ウーダ)ループによる進行管理とし、観察(Observe)、状況判断・方向付け(Orient)、意思決定(Decide)、行動(Act)を行うことで機動力と実効性を高めていきます。なお、社会環境の変化、政策・施策・事業の進捗などに状況変化があった場合は、必要に応じて柔軟に見直すものとします。

「意思決定」段階で採択された方針にもとづいて、意思決定の意図・命令を踏まえて、行動に移す。

周囲の環境を観察し、固定概念や期待する想定に固執せず、あらゆる情報を集める。





## 第4節 計画の進行管理と行政評価

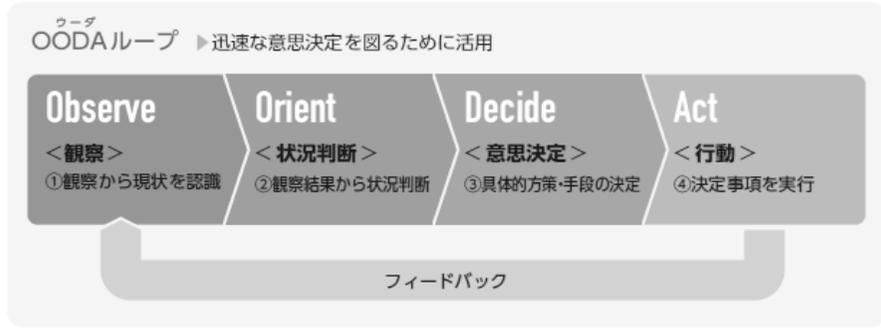
総合計画を着実に実現していくためには、事業効果を検証し、限られた行政資源（人・モノ・財源）を効率的に配分することで、効果的に事業を進めていく必要があります。

このため、行政評価（PDCAサイクル）により、基本計画や実施計画に掲げている施策・事業の評価を計画の進行管理体制に基づき行い、計画と予算を連動させ、事業を展開していきます。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界的な動向において不確実性の高い状況が続き、変化が速く、確実な予測が難しくなっているため、新規事業の創出や新たな市民サービスに取り組む際、変化に対して柔軟かつ迅速に対応でき、判断と行動の先送りが減るOODA（ウーダ）ループ思考を活用した事業展開も取り入れています。



✦ 相互補完的に活用



**PDCAサイクル：** Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Action（改善）の頭文字をとったものです。永続的な行政目標の達成に向けて、自ら計画を策定・実行し、改善していく行政経営の手法として活用されています。

**OODAループ：** Observe（観察）、Orient（状況判断）、Decide（意思決定）、Act（行動）の頭文字をとったものです。現状を把握・分析し、時代の変化に合わせた新しい政策をより効果的に行っていくためのもので、近年はPDCAサイクルを補完する経営手法として注目されています。

## ■計画の進行管理体制

